

研究実施のお知らせ

2019年3月11日 ver.1.0

研究課題名

スボレキサントせん妄予防効果に関する検討

研究の対象となる方

2015年1月から2018年12月の間に島根大学医学部附属病院でICUに入院された方

研究の目的・意義

せん妄は、一過性の混乱で、手術や感染症など、重大な病気にかかった方に多く発症します。発症すると大切な治療を受けにくくなるばかりではなく、生命予後や認知機能を悪化させます。そのため、まずは発症させないために予防、そして発症した場合の速やかな治療が必要とされています。せん妄は多くの原因でなりますが、そのうち大きな原因のひとつとして不眠や昼夜逆転などの睡眠覚醒リズム障害が挙げられます。従来からある睡眠薬（GABA系作動薬）はそれ自体がせん妄の原因となるため、改善が困難でした。近年、ラメルテオン（メラトニン系作動薬）やスボレキサント（オレキシン系作動薬）など、せん妄を引き起こさずに睡眠を改善できる可能性を持った薬剤が使用可能となっており、小規模の臨床試験では良好な結果を示しています。しかし、多くの対象者への使用を検討した研究や、それぞれの薬剤の比較を行った研究は乏しく、実臨床での有効性はまだまだこれから解明していかなくてはなりません。そこで、本研究では、これまでの島根大学でのICUの治療結果を解析することで、この問題に取り組んでいこうと考えています。

研究の方法

後方視的疫学研究

せん妄の発症、薬剤の使用、検査結果など、カルテに記載されている情報を用いて検討を行います。具体的には、カルテに保存されているせん妄、睡眠状態、鎮静状態、血液検査結果、尿検査結果、背景データ（年齢、性別、BMI、既往歴）、認知機能、身体機能、聴力障害、視覚障害、薬剤使用歴、アルコール使用歴、喫煙歴、拘束の有無、カルテのコメントなどを用います。

個人情報を守られ、研究結果は解析した結果のみを用いて発表され、個人が特定される形での発表はありません。

研究の期間

2017年12月13日～2020年3月まで

研究組織

この研究は島根大学医学部精神医学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部精神医学講座／附属病院精神科神経科 伊豆原宗人

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2019年5月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部精神医学講座／附属病院精神科神経科 伊豆原宗人

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2262 FAX 0853-20-2260